

当社初となる産学官連携の研究および新規事業開発拠点 「長崎 R&D ブランチ」を開設

～長崎市内に 2020 年4月1日開設予定～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、長崎市に当社初となる産学官連携の研究および新規事業開発拠点「長崎 R&D ブランチ」を開設します。

昨年3月、長崎県産業振興財団(※注)より、当社のIT関連事業施設の同県進出の要請を受け、進出へ向け検討してまいりました。この度、立地や人材、さらに官学との連携状況などを考査の結果、今回の立地決定の合意となりました。

同拠点では、長崎県が推進する支援体制を最大限に活用し、県内の大学・高専等の教育機関が持つシーズや研究成果と、地元企業および長崎進出企業が持つ技術力を活用した研究開発と新規事業の創出に取り組んでまいります。

記

■事業所の概要

(1) 事業所名 : 株式会社ゼンリン 長崎 R&D ブランチ

(2) 立地場所 : 長崎市内

(3) 事業目的 : ①AIを活用した地図データの作成に関する研究開発

IoTや5GといったIT技術革新により、MaaSや自動運転などが普及する世の中においては、地図データベースもリアルタイムな整備・更新が求められる。そのため、AI技術やビッグデータ(道路情報、地物情報など)の解析・分析技術を用いて、地図整備・更新の自動化や省力化を目指した研究開発を行う。

②新規事業創出

長崎県が推進するIoT関連産業の育成・集積に関する取組みを最大限に活用し、長崎県内の教育機関や、企業と連携を図りながら新事業の創出に取り組む。

(4) 開設月日 : 2020年4月1日(予定)

(5) 社内所管 : 研究開発室

(6) 人員体制 : 12名(5年後)

(※注) 公益財団法人長崎県産業振興財団について

(1) 理事長 : 田川 伸一

(2) 所在地 : 長崎市出島町2番11号 出島交流会館

(3) 事業内容 : 長崎県の活力ある地域経済の活性化と雇用の拡大を目指し、県内地場企業の営業力強化の支援、企業誘致の推進、ベンチャー企業の育成、研究開発支援など県内企業への様々な支援活動を実施